

秋田県仙北市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	観光宿泊者数【8.9】	2019年 504,967 人	2021年 324,165 人	2022年 425,237 人		2030年 860,000 人	49%
2	近未来技術実証件数（累計）【9.5】	2019年 2 件	2021年 6 件	2022年 8 件		2030年 7 件	120%
3	特定健診受診率【3.4】	2019年 35 %	2021年 38 %	2022年 41 %		2030年 45 %	91%
4	まちづくり満足度【11.3】	2019年 29 %	2021年 38 %	2022年 39 %		2030年 40 %	97%
5	耕作放棄地面積【2.4】	2019年 34 ha	2021年 42 ha	2022年 38 ha		2030年 25 ha	-43%
6	水素生成量【7.a】	2019年 100 ℓ	2021年 15 ℓ	2022年 2 ℓ		2030年 100,000 ℓ	0%
7	田沢湖のpH【14.3】	2019年 5	2020年 5	2021年 5		2030年 6	-33%

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度（%）
1	① 近未来技術による夢のあるまちづくり	SDGsの視点を重視した児童会・生徒会の取組件数	2019年 0 件	2021年 1 件	2022年 1 件		2023年 2 件	50%
2	① 近未来技術による夢のあるまちづくり	近未来技術実証件数（累計）	2019年 2 件	2021年 6 件	2022年 8 件		2023年 7 件	120%
3	② 「温泉×健康」による持続可能なまちづくり	疲労ストレス測定器利用件数（累計）	2019年 26,218 件	2021年 37,539 件	2022年 41,639 件		2023年 55,000 件	54%
4	② 「温泉×健康」による持続可能なまちづくり	（再掲）観光宿泊者数	2019年 504,967 人	2021年 324,165 人	2022年 425,237 件		2023年 500,000 人	85%
5	③ 田沢湖再生の加速化	校外学習等として田沢湖クニマス未来館を利用した人数	2019年 1,173 人	2021年 2,182 人	2022年 2,134 人		2023年 2,000 人	107%
6	④ 農業IoTの導入による農業生産性の向上と耕作放棄地の削減	農業用ドローン導入件数（累計）	2019年 9 件	2021年 24 件	2022年 28 件		2023年 30 件	90%
7	④ 農業IoTの導入による農業生産性の向上と耕作放棄地の削減	（再掲）耕作放棄地面積	2019年 34 ha	2021年 42 ha	2022年 38 ha		2023年 28 ha	-63%
8	⑤ 水素エネルギーの活用による産業振興	（再掲）玉川温泉水からの水素生成量	2019年 100 ℓ	2021年 15 ℓ	2022年 2 ℓ		2023年 1,000 ℓ	0%

(3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

<ul style="list-style-type: none"> ・(No.1)「観光宿泊者数」は、新型コロナウイルス感染症による移動制限の影響が和らいだことと、SNSやYoutube等によるプロモーションの注力等により、前年より増加している。ウィズ・ポストコロナ下での新しい生活様式や、DXの加速化など、高度で専門的な観点から新たな観光振興計画を立て、速やかに実践に向かうことで、2025年までにコロナ禍前の数値に戻し、2030年には当初の目標値の達成を目指している。 ・(No.5)「耕作放棄地面積」については、基準値よりは多いものの、昨年度よりも着実に面積を減らしている。 ・(No.6)「玉川温泉水からの水素生成量」は伸び悩んでいるものの、低コスト・脱炭素を目指す研究に取り組む等、質的な改善を着実に進めている。目標達成に向けて、温泉水と反応させる材料（廃アルミウム等）の検討等を進めている。 ・(No.7)田沢湖のpHの改善に向けては、国と県との連携の取り組みを進めるとともに、田沢湖再生の支援を広く得るための周知活動を粘り強く継続する。 ・その他指標については、概ね堅調に推移している。
--